武雄市立若木小学校　学校だより　　令和　8年　10月　9日　№10
文責　校長　中　原　嘉　孝

わかきっ子

【学校教育目標】ふるさと“若木”を愛するたくましい若木っ子の育成
～みんなでつくる・みんなでのびる～

実りある一学期を終えて　～子どもたちよく頑張りました！～

４月に始まった令和８年度も、気が付けば半年を終えました。子どもたちは、学習や行事、日々の生活の中で一歩ずつ成長してきました。保護者の皆様、地域の皆様の温かいご支援に心より感謝申し上げます。後期も「みんなでつくる　みんなでのびる」を合言葉に、笑顔あふれる若木小をつくっていきます。

若木の力　ひとつに　～大楠の里若木町・若木小学校合同運動会開催～

10 月 4 日（日）若木町民と若木小学校による合同運動会を、今年も盛大に開催することができました。子どもたちは、これまでの学習で積み重ねてきたことや、運動会にむけた練習で培ってきた力を存分に発揮し、一人ひとりが最後まで全力で競技に取り組みました。競技する姿、応援する姿、仲間と力を合わせる姿…。そこには、心身ともにたくましく成長した若木っ子の姿が感じられました。合同運動会を通して「ふるさと若木を愛するたくましい若木っ子の育成」という学校教育目標に向けた取り組みがまた一つなされたことを嬉しく思います。

また、競技や運営、準備・片づけなど、様々な場面で地域の皆様に温かいご支援とご協力をいただきました。若木の子どもたちが、そして若木小学校が保護者、地域の皆様に支えられていることを、改めて実感しました。ご協力いただいた多くの皆様に心より感謝申し上げます。













ふるさと“若木”を誇りに思う　～たけおっ子の主張　６年　綿島　萌さん発表～

10 月 3 日（土）に武雄市役所にて「わかきっ子の主張」が開かれました。隔年での発表で今年は若木小学校の出番年になっていましたが、6 年生の綿島萌さんが堂々とした見事な発表をしました。ふるさと“若木”のよさを思う存分に伝えてくれました。

「私の愛するふるさと “若木”」　武雄市立若木小学校 6年 綿島萌

私のふるさと若木には、樹齢三千年といわれている川古の大楠があり、たくさんの葉をしげらせています。川古の大楠は、国の天然記念物にも指定されていて、その堂々とした立ち姿は若木の誇りです。

私の家は山の中腹にあるのですが、空気が澄んでいる日にみえる雲仙普賢岳は絶景です。秋の早朝には雲海を見ることができる日もあります。朝、窓を開けて、山や空を眺めると、「今日も一日がんばろう」という気持ちになります。

また、夜には満天の星空を見ることができます。街ではなかなか見ることのできないたくさんの星が空いっぱいに広がります。そんな星空を見ると、「若木って、すごいところだな」と改めて感じます。

他にも、「永野の風穴」という洞窟や春に美しい花を咲かせる「ジラカンス桜」など、若木には素晴らしい自然がいっぱいあります。しかし、私が若木を好きな理由は、自然だけではありません。

若木には、日本の伝統工芸品を作っている、かま元さんや木工屋さんもあります。私のお父さんも工房を開いており、菊の花やこうもりなどを描いた焼き物を作っています。毎年、有田の陶器市で出店していて、私も焼き物を売るお手伝いをしています。私は、そんなお父さんの姿を見ながら、「若木には、自分の得意なことや好きなことを生かして頑張っている人がたくさんいるんだな」と思うようになりました。

そして、もう一つ、私が若木を大好きな理由があります。それは、地域の人たちがとても優しい、ということです。例えば、私が朝、学校に行くとき、地域の人にあいさつをすると、いつも笑顔で返してくれます。

「おはよう。今日も頑張ってね。」

そんな一言をかけてもらうだけで、私は元気になります。私たちが地域の人に話しかけたときは、優しく、最後まで話を聞いてくださいます。

6年生全員が参加した「通学合宿」では、公民館で三日間を過ごしました。自分たちで買い出しや料理をするために、地域の人たちがたくさんの力を貸してくださいました。夜には怪談話や日本一周すごろくを一緒にしてくださり、普段経験することのない、貴重で楽しい三日間を過ごすことができました。

この地域の行事を通して、私は、「自立すること」や「家族のありがたみ」を学ばせていただきました。

若木は、人と人とのつながりを大切にする町です。こうして毎日を温かい気持ちで過ごせるのも、若木の大きな魅力だと思っています。

私の「萌（めい）」という名前には、「草木が萌える」という意味があります。私が生まれた立春の頃、家の近くの山々の木が鮮やかに緑に変わっていく様子から、この名前が付けられました。私は、自分の名前の由来を聞いて、「私の名前にも、若木の自然がつながっているんだ」と知り、感動しました。私の成長を見守ってくれた若木の素晴らしい自然や、地域の人たちに感謝の気持ちでいっぱいです。

小学校の卒業式まで、あと半年となりました。これから、一つ一つの出来事が「楽しかった」と心から思えるように、若木小学校で過ごす一日一日を大切にしたいと思います。



いつか私が若木を離れることがあったとしても、このふるさとを忘れたくありません。大楠や山々、星空、そして地域の人たちの笑顔。私の大好きな若木の素晴らしさを、今度は私が誰かに伝えていきたいです。

そして、自分を育ててくれた若木に誇りを持ち、未来の子どもたちにも、この素晴らしいふるさとをつないでいけるような人になりたいです。いつか学校の先生になる夢をかなえて、私を育ててくれた若木町に恩返しができるよう、一歩ずつ努力します。